

血清 (serum) サンプルからのエクソソーム回収: Total Exosome Isolation (from serum)(Cat#4478360) を用いた濃縮・回収

(サンプルの前処理)

1. 血清サンプルを処理まで氷中に置く
凍結血清を使用の場合は、25°Cのwater bath中で完全に融解させ、氷中に置く
2. 遠心 (2000xg、30min)で細胞や細胞デブリスをペレット化し、新しいチューブに上清を移す(ペレットが混入しないように注意)
次の操作に進むまで氷中に置く

(エクソソームの濃縮・回収)

1. 前処理した血清サンプル量の0.2倍量 (1/5量)のTotal Exosome Isolation (from serum) reagent.を添加し、全体が均一になるまでよくミックスする
例: 1mLの血清に対して、200 μ Lのreagentを添加する
100 μ Lの血清に対して、20 μ Lのreagentを添加する

注意: ミックス後、白濁する可能性があるがそのまま次のステップへ進むこと

2. 1のmixtureを2~8°Cで30分間 インキュベートする
3. 遠心処理 (10,000xg、10分間、室温)
4. 上清をきれいに排除する。エクソソームはペレット化されて回収される
5. ペレットを1 x PBSまたは以後のアプリケーションに使用するbufferで懸濁する
参考: 懸濁するbufferの液量:
スタート量が 1mLの場合、100~500 μ L
スタート量が 100 μ Lの場合、25~50 μ L
6. エクソソームの保存
2~8°Cで最大1週間保存可能
長期保存の場合は、-20°C以下で保存

